

第40回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	小島ゼミⅡ
チーム名	小島結婚相談所
タイトル	婚活市場・事情！異常!?
テーマ群	e) 産業・企業
メンバー	◎津田由加・浅野慎也・粟井夕加里・大西潤・大畑亜紀彦・金川隆之・北田浩二・坂口明日美・佐々木顕廣・嶋田裕介・橋野達哉・松坂浩司・三浦秀平・美山大輔・武藤力・山脇温子
研究計画内容	<p>婚活って最近よく耳にしません？</p> <p>意外にこの Word は 3 年前に造られた比較的新しい造語なのです。</p> <p>いつしか世間一般に浸透された婚活。普通に恋愛し結婚するという定説から、結婚のために過大なコスト(金、時間)を使う時代に突入しています。よりよい結婚相手を探すために効率良く膨大な情報を求めることは、大学生にとって避けては通れない就活と類似性も多くあります。</p> <p>婚活に関する事業所は約 4000 社と急激に増加しており、現在では <u>6000 億もの市場を形成</u>しています。昔ながらの結婚相談所から、インターネットを使ったマッチングサイト、お見合いパーティー専門など多種多様です。</p> <p>以前は男性の利用率が高くある種男性のものといった感もありました。しかし、現在は女性の利用率が高く、ここでも男性の草食化、女性の肉食化が如実に出ています。問題はこの市場が拡大しているにも関わらず肝心の未婚率は増加中です。今日では地方自治体や NPO 法人までもが婚活を主催するまでに至りました。</p> <p>消費者は多大なコストを支払っているにもかかわらず男女のミスマッチがそれ以上に大きく、成婚率という便益性もさほど大きくないのが現状です。ミスマッチは成婚率を下げ少子化にも寄与し、今後の日本経済にも大きな影響を及ぼします。このようなミスマッチが拡大した経緯は諸説ありますが、長期に渡る日本経済の低迷や社会構造の変化が男女の意識を変化させたのではないかと考えられます。</p> <p>婚活ブームはなぜ起きたのか？</p> <p>そしてそれは今がピークで一過性のブームなのか？</p> <p>もしくはこれから更に拡大するのか？</p> <p>危機的な結婚率を招いた原因は？</p> <p>私共、小島結婚相談所では婚活市場とそれを産み出した社会背景を経済学の側面で検証し今後の在り方を探ります。</p>

